

開基四〇〇年記念事業への ご寄付ご協力のお願い

開基四〇〇年となる本年に向けて、平成二十六年より本堂並びに境内、水汲み場、各種掲示物等の改修・整備工事を行ってまいりましたが、引き続き次の事業を進めたいと考えております。

- ①開基四〇〇年祭の開催
- ②墓地内の通路等の整備
- ③広報・印刷物の作成等

なお、これらの事業を推進していくためには、檀信徒の皆様のご賛同とご支援が必要であり、ひとりおひとりの温かいお気持ちを事業費用の一部に充てさせていただきたいと考えております。つきましては、甚だ恐縮ではありますが、本事業へのご寄付を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

開基400年記念事業 寄付金募集要項

募集期間 平成28年4月1日～平成28年8月31日

事業費 800万円

寄付目標額 300万円

寄付金 1口 1万円

できる限り複数口のご協力をいただければ幸いです。※1万円未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

●郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 01650-7-11836

加入者名 日蓮宗 寿量寺

寿量寺の見どころ紹介

キリシタン灯籠

近世(日本史では安土桃山時代から江戸時代)の茶庭(茶室を施した庭園)の展開により、庭に石灯籠を設置する風習が生まれ、社寺系とは異なる新たな形の灯籠が造られました。そのひとつが茶人・古田織部(戦国時代の武将、千利休の高弟)が考案、もしくは好んで用いたとされる「織部燈籠」です。竿の上部が左右に円形に張り出しているのが特徴。

この張り出しを十字架の変形、下の長身像を宣教師像ととらえ、俗に「キリシタン灯籠」と呼ばれていますが、キリシタンとの関係は定かではありません。当山の灯籠は、天正年中(1573～1592)に伊勢桑名から移され、後に寄進されました。県内には他に10基ほどのキリシタン灯籠が確認されています。

参考資料:「キリシタン研究四国編」松田毅一著、1956年



キリシタン灯籠は中庭に設置しています。本堂からご覧ください

お花見にお越しください

今年も境内の桜が咲き染める頃が近づいてきました。当寺のホームページでも、開花情報をお知らせしていく予定ですので、お近くにお立ち寄りの際は、ぜひお花見にお越しください。



お寺ギャラリー開設のお知らせ

あなたの作品を 本堂に展示しませんか

寿量寺では、本堂をギャラリーとしてご活用いただけます。利用料は無料です。絵画、写真、手工芸品など、あなたの作品を展示していただけます。展示内容、期間等の詳細につきましては、お問い合わせください。 ☎088-652-0908 寿量寺

利用料無料



吊し籠の展示の様子(本堂にて)

日蓮宗 寿量寺

住職 佐伯 明彦
徳島市寺町10番地
電話 088-652-0908

ホームページはスマートフォンにも対応しています

じゅりょうじ

検索

<http://juryoji.jp/>